

平成30年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①科学技術教育に関する感性を醸成させ、幅広い教養・技能・技術を身に付けさせる。</p> <p>②基礎学力の定着と学力向上に向けて、指導の工夫や充実を図る。</p>	<p>①生徒の興味関心を広げ、意欲を高めるため、資格取得を促進し、専門教育の充実を図る。</p> <p>②生徒一人ひとりに見合った指導を工夫し、学習習慣の定着や学び直しの充実を図る。</p>	<p>①東海大学などとの連携を通じて大学の授業を体験することで、上級学校教育への興味・関心を醸成し、意欲を伸ばす。</p> <p>②学び直しを数学の計算力に絞り、生徒一人ひとりの苦手分野を把握し、基礎学力の定着を図る。</p>	<p>①理工系大学進学希望者への対応が十分できているかを出前授業などの内容、理解度で確認する。</p> <p>②基礎的な計算力の定着が図られたかを種々のデータで確認する。</p>					
2 生徒指導・支援	<p>①基本的な生活習慣を確立し、社会性を持った人材を育成する。</p> <p>②教育相談体制を充実させ、生徒一人ひとりの個に応じた支援体制を構築する。</p> <p>③部活動を活性化させ、責任感やコミュニケーション能力を養う。</p>	<p>①日頃からきめ細かな指導を行い、挨拶の励行や交通マナーの向上を図る。</p> <p>②校内の共通理解を深め、専門家の助言を生かすことで教育相談体制の充実を図る。</p> <p>③部活動入部率の更なる向上を図り、活気ある学校づくりを進める。</p>	<p>①集会や校内外巡視指導などを通じて、定期的に挨拶の励行と交通マナーの順守を指導する。</p> <p>②教育相談コーディネーターを中心に養護教諭やスクールカウンセラー、特別支援学校等の外部機関と広く連携して支援体制を整え、問題を抱える生徒への対応にあたる。</p> <p>③説明会や勧誘期間での働きかけを通じ、入部しやすい環境を整える。委員長会議を活発にし、各行事の円滑化を図る。</p>	<p>①欠席・遅刻は減少したか、交通事故は減少したかを件数で確認する。</p> <p>②多様な生徒に効果的な支援を行うことができたか、教育相談やケース会議の実施状況で確認する。</p> <p>③部活動入部率は上がっているか、各行事の内容・進行は計画通りだったか、委員長会議は月何回開催されたか。</p>					

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3 進路指導・支援	<p>①体系的なキャリア教育実践プログラムを確立する。</p> <p>②生徒が主体的に進路決定に向き合える進路指導の充実を図る。</p>	<p>①キャリア教育の充実に向けて、実践プログラムを職員間で広く共有して取組を進める。</p> <p>②多く経験を元に適切な進路決定ができるよう、進路選択を支援する取組を充実させる。</p>	<p>①キャリア教育の携わる教育の育成を進め、プログラムの改善とキャリア教育の充実を図る。</p> <p>②郊外との連携を深め、インターンシップ参加生徒の増加に向けて取り組む。 学校運営協議会制度の体制作りを行う。</p> <p>進学希望者へのサポート体制を整える。</p> <p>企業求人情報を有効活用する。</p>	<p>①教員の育成はできたか、プログラムの改善は達成できたか。</p> <p>②郊外との連携が進み、参加生徒数は増加したか。 協議会制度を通じ外部の意見が生かされたか。 上級学校見学、オープンスクール参加者は増えたか。 求人と生徒の良好なマッチングはできたか。</p>					
4 地域等との協働	<p>工業系専門高校として、ものづくり体験教室を始め、文化祭や学校へ行こう週間等での地域への公開で、開かれた学校づくりを進める。</p>	<p>説明会や学校ホームページを充実させ、中学生に広く学校をアピールする。 学校運営協議会制度の活用などにより、地域とともにある学校づくりに努める。</p>	<p>体験型の学校説明会を充実させる。 ホームページの中学生、保護者向けページを充実させ、本校のPRを図る。 地域イベントへの積極的な参加で学校PRを行う。</p>	<p>体験型学校説明会への応募者や参加者は増加したか。 本校への志願者は増加したか。 ホームページの更新回数は増加したか、閲覧カウントは増加したか。</p>					
5 学校管理 学校運営	<p>①事故・不祥事をなくし、地域の信頼を高める。</p> <p>②教育環境を整備し、安全安心な学校を堅持する。</p> <p>③防災意識を高め、地域の防災拠点としての充実を図る。</p>	<p>①啓発資料を適時、適切に活用し、不祥事防止研修を充実させる。</p> <p>②安全管理に係る各種規定の整備や職員への徹底を図る。</p> <p>③防災に係る校内の取組を充実させるとともに、防災を核にした生徒の地域参加を検討する。</p>	<p>①事故防止会議・研修を繰り返し実施する。また校務の時期に合わせ、担当職員から注意、呼び掛けを行う。</p> <p>②本校施設の現状把握に努める。また防災対策に向けた組織図やマニュアルを正しく把握する。</p> <p>③平塚市の災害図上訓練(DIG)などに生徒を派遣、参加させ、周辺地域の方々と共に地域防災に対する役割を確認する。その成果を校内の防災教育活動に生かす。</p>	<p>①会議・研修の回数は増加したか、適切な開催時期、担当により会議・研修は行われたか。</p> <p>②施設の現状把握は進んだか、また各種規定は正しく把握されたか。</p> <p>③訓練への参加者数で確認する。また地域との取組が本校の防災教育活動へどれだけフィードバックできるか検証する。</p>					